

## 板橋区基本構想審議会 要点記録

会議名	第 12 回板橋区基本構想審議会
開催日時	令和 7 年 9 月 8 日（月）午後 6 時から午後 7 時 15 分まで
開催場所	板橋区役所 11 階 第一委員会室
出席者	<p>〔委員〕 29 人（敬称略）          内藤二郎（会長）、岸井隆幸（会長代理）、大塚隆志、木村政司、許俊銳、          佐藤知正、梶田博文、相田義正、榎本藤二、加藤勝一、小林英子、齊藤          得彌、堂本航一、関口雅美樹、高田修一、坂東愛子、福司慶子、望月由          佳、木村縁理、辻内孝昌、濱崎希歩、田中しゅんすけ、田中いさお、お          なだか勝、小林おとみ、佐々木としたか、成島ゆかり、尾科善彦、長沼          豊（欠席：2 人）</p> <p>〔幹事〕 14 人          篠田政策経営部長、田中総務部長、遠藤危機管理部長、平岩区民文化部          長、家田産業経済部長、三浦健康生きがい部長、丸山福祉部長、関子ども          家庭部長、雨谷資源環境部長、内池都市整備部長、田島まちづくり推          進室長、宮津土木部長、林教育委員会事務局次長、金子地域教育力担当          部長（欠席：1 人）</p> <p>〔事務局〕 小島政策企画課長、保泉経営改革推進課長、大森政策経営部          参事（財政課長）</p>
会議の公開 (傍聴)	公開
傍聴者数	0 人
議題	<p>1 最終答申について          2 審議会答申</p>
配付資料	1 板橋区基本構想審議会答申（案）
政策企画課長 会長 会長	<p><b>開会</b>          ただいまから第 12 回板橋区基本構想審議会を始めさせていただく。          まずは、会長から、ご挨拶を頂戴する。          順調に審議が進んだこともあり、審議会を 1 回スキップし、今日が最          終回となる。本日は内容の最終確認をして、答申を区長にお渡しするの          がメインとなる。また、皆様にも一言ずつ感想をいただきたいと考えて          いるので、最後までよろしくお願ひする。          (政策企画課長から資料の確認。以降、会長進行)</p> <p><b>1 最終答申について</b>          (政策企画課長から資料 1 について説明)          1 年間あまり、ここでいろいろと皆様にご意見をいただき、できあが</p>

政策企画課長  
政策企画課長  
区長

った答申について、様々な議論があったことを思い出しながら、説明を聞いていた。良いものができたと私は思っている。向こう 10 年を見据えた構想であり、これまでの板橋らしさ、良いところを活かしつつ、変化の激しい社会情勢の中、新たな視点も組み込んでいく、非常に難しい作業であったが、細かい表現や文言、図の形、色までこだわり、全体像を見ながら、1 回 1 回積み重ね、長い時間かけて議論してきた成果である。

何か、確認が必要なことなどあれば伺うが、いかがか。  
(意見なし)

それでは、区長にお越しいただき、我々の思いを込めて答申をお渡ししたいと思う。

## 2 審議会答申

(坂本区長入室)

それでは、会長から坂本区長へ答申をお渡しいただく。  
(答申の受け渡し)

続いて、坂本区長からご挨拶を申し上げる。

これまでお忙しい中、基本構想審議会にご出席賜り、最終答申をおまとめいただいたこと、心から感謝申し上げる。

昨年の 8 月に、本審議会が立ち上がって以来、およそ 1 年間にわたり、全 12 回の審議会と 3 回の起草委員会が開催され、大変熱心で活発な議論が交わされたと聞いている。答申として、「未来をひらく 緑と文化のかがやくまち “板橋”」という将来像を掲げていただいたが、この将来像は、新たな未来を自ら切り拓き、発展していく、強い意思が込められた素晴らしい内容であると感じている。

また、併せて基本計画に盛り込むべき施策として、組織横断的な連携体制による取組や、区民目線を意識した情報発信の必要性などのご意見をいただいたが、基本計画等に位置づけるべき、大変重要な視点だと感じている。

区としては、頂戴した答申は、新たな基本構想と、その実現に向けた施策を体系的に示す基本計画、そして、具体的なアクションプランプログラムである実施計画として、「東京で一番住みたくなるまち」の実現に向け、区民の皆様にわかりやすく、また総合的にお示しして参りたいと考えている。

答申の起草にあたっては、各委員の皆様から貴重なご意見やご助言を頂戴し、心から感謝申し上げる。本日まで、1 つの答申にまとめ上げていく過程においては、会長にも大変なご苦労があったことと思う。改めてお礼申し上げる。

政策企画課長

委員

委員

委員

さらなる少子高齢化の進行、気候変動の深刻化など、社会経済環境が著しく変化をする中、区が持続的に発展していくためには、ますます、区の努力だけでは厳しい時代となってきた。そのため、地域で活躍されている各団体の方々をはじめ、区民の皆様や企業、事業者の皆様など、あらゆる主体との協働や連携、共創の取組を進め、また区議会の皆様と区が区政を推進する車の両輪として協力をし合いながら、理想とするまちの姿を実現して参りたく、今後とも、これまで以上の区政へのご理解とご協力、ご指導を賜りますよう心からお願い申し上げる。

改めて、皆様の12回にわたる、また大変多岐にわたるご意見をいただきましたことに対して、心から敬意と感謝を申し上げ、簡単ではあるが、区を代表してのお礼とさせていただく。

それでは、皆様から一言ずつ、当審議会の活動を振り返っての感想等をお願いしたい。

この会に携わらせていただいたことを光栄に思う。たくさんためになることを伺い、役に立った。

社会福祉協議会として、この基本計画と、同時に策定の進んでいる地域保健福祉計画をベースに、一生懸命、組織一体となって頑張りたい。

今、高齢化が進む高島平団地のある場所は、昔は、一帯が田んぼであり、私はその中で育ちながら、区の発展を見てきた。

5か月間、政策分野別の検討の中で、様々な角度から区の将来を考えてきたが、少子高齢化が進み、今後、区政は大変であると思う。徳丸・赤塚地区にも高齢者住宅が増えてきた。他区と比較して教育、福祉、医療が高水準の板橋が、東京で一番住みたくなるまちになるよう、高島平の再開発、東武東上線の立体化などが進んでいく中で、自らは向上心を持って健康に過ごし、区の今後10年の発展を見届けたい。

この審議会に参加させていただき、感謝する。素晴らしい答申がまとまり、形になるのが今からとても楽しみである。

様々な資料を用意していただいたが、子どもワークショップの実施報告において、様々なスポーツに接したいと思っている子どもがたくさんいることを知った。スポーツ協会では、区と共に、スポーツフェスティバル in 板橋を開催しており、27の加盟団体が、子どもたちに様々なスポーツを体験してもらう場を作っていることが有効だったと感じ、さらに将来に向けて、ますます充実させるにはどうしたらよいか考えるきっかけとなった。

会長代理が、行政はどうしても縦割りになってしまいがちだとおっしゃっていたが、スポーツを接着剤として横に広げていけるように今後考えていきたい。

委員	毎回緊張しての参加であったが、本当に多くの事を学ばせていただき、感謝申し上げる。10年後の板橋を楽しみに地域でしっかり頑張つて参りたい。
委員	この10年間、区は様々な取り組みを展開していく中で、SDGs、DX、ブランドと3つの戦略を打ってきたが、板橋区商店街連合会としては、いたばしPayを始めた。これをみらいにつないでいくが、この審議会では、ひと・まち・みらいにつなぐという視点で審議してきた。
委員	将来像につながる9つのめざす姿を人口が減少し、経済状況が大きく変化する中で、どうつなぎ合わせていくか、今後が非常に重要だと思っている。次は、基本計画・実施計画の策定に進むと思うが、その中で、連合会としてどのように携わっていけばいいのか、世の中の動き、一人ひとりの価値観がある中で、どのように結びつけていけば良いのかが今後重要な視点となると思う。また別のところで様々な議論をさせていただき、事業発展のために取り組んでいきたい。
委員	この審議会は、学びの場であった。地域で文化活動をしている時に、伝統をいかに未来につなぐか苦心しているが、この審議会では、その理論がいたるところに見え、共感を持って参加させていただいた。
委員	審議会の中で、安心して暮らせるまちとして、高齢者、障がい者、小さな子どもがいる方、すべての方を取り残さないように、区が施策を展開していることが印象深かった。これからユニバーサルデザイン、スマートシティをどのように組み込んでいくのか注意深く見守っていただきたい。
委員	この1年間で学ばせていただいたことをこれから私の活動に反映させていきたい。この審議会に関わった皆様のご尽力に敬意を表するとともに、区のますますの発展を心から願い、一言ご挨拶申し上げる。
委員	皆さんの思いが伝わってきて、とても有意義な会議だったと感じている。会議は終了するが、今後も板橋の持つ魅力を多くの方に伝えたいと思っている。
委員	途中からの参加であったが、この審議会に参加させていただき、基本構想というものを知ることができた。自分の子どもが10年後に、板橋区でよかった、これからも板橋区に住みたいと思えるよう、基本構想を意識しながら活動していきたい。
委員	1年間、いろいろなデータを拝見し、大変勉強になった。子育て、教育、それ以外の分野も子どもたちに関わるデータが大変多く、計画がこのようにつくられていることも勉強になった。これを小学校のPTA会長たちに共有し、みんなで同じ方向を向いて、区をどんどん良くしていくら感じた。

	<p>仕事柄、区のローカル情報を発信しているので、区の計画の中で皆さんの取組をブランディングするために発信していけたらと思う。</p>
委員	<p>年を重ねると 10 年先を想像することを躊躇うが、次の世代が、持続可能で、安心安全で真に豊かな未来を享受するために、10 年後を想定した将来像とその実現に向けた施策のあり方について、審議を重ね、私たちの愛着ある風景、日常を未来につなぎ、未来をめざすことが必要だと思っている。</p> <p>この審議会に参加できたことを光栄に思う。厳しい暑さが続いているが、ご自愛いただきたい。</p>
委員	<p>日頃、専業主婦として生活しており、このような世界があることに驚いたことから始まったが、10 年後に今の子どもたちが、ここに住んでよかったなと思える板橋区になれば良いと願っている。ちょうど、私の子どもが 10 年後に 20 歳になるので、どうなっているのかが楽しみになった。貴重な体験をさせていただき、感謝申し上げる。</p>
委員	<p>板橋区に生まれ育ち、20 年以上様々な審議会に参加しているが、区の幹部職員がこれほど一堂に会している審議会は他にない。ほぼ毎月開催され、とてもハードだったというのが率直な感想である。</p> <p>子どもの母という目線でいろいろ発言させていただいた。私の子どもたちは、毎日全力で生きており、圧倒されていたが、この答申をつくつたと子どもたちに自慢したいと思う。</p>
委員	<p>最初に席に座った時、想像以上の人数と、錚々たるメンバーに緊張し、自分に何ができるかと感じたことを思い返した。この審議会を通じ、何より自分自身が、区をどんどん好きになっていく変化が面白かった。このわくわくした気持ちを区民一人ひとりに伝えたいと感じた 1 年であった。</p> <p>この素晴らしい構想を作つて終わりではなく、いかに一人ひとりの心に届けられるか、発信を重要視したい。私は、まずは友人知人から、板橋のよさを伝えたいと思う。</p>
委員	<p>答申を見ると、いつ話し合つたことだとか、自分が意見を出したことだと思い出し、本当に改めてすごく良いものが完成したと感じる。</p> <p>私は生まれ育つて 20 年間、板橋で生活してきたが、この審議会を通じて、まだまだ板橋について知らない部分があると感じ、とても勉強になった。板橋の良い部分を知れたと同時に、これから変えていかなければいけない課題も強く感じた。そういう課題を恐れることなく、どんどんと解決していく板橋区であつて欲しい。</p> <p>基本構想は作つて終わりではないと思っている。これを今後いかに区民に発信をして、区民全員に伝えていくかが重要であるので、発信につ</p>

	いても重点を置いてほしい。ここまで良いものができたので、板橋のブランドにもなると思うし、今後、板橋のカラーがどんどんしていくと思う。一区民として、今後できることがあれば、全力で協力していきたい。
委員	今後の議員生活にとって本当に貴重な経験をさせていただき、感謝申し上げる。会長をはじめ、委員の皆様をねぎらいたい。
委員	皆様の思いが詰まった構想ができたと感じている。いよいよスタート台に立つのだと思うと、感動するし、緊張している。1年間、活発な議論ができたが、これから構想を進めていくのは、やはり人だと思うので、人づくりが重要となる。その人づくりを進めるためにも、リーダーが必要であるが、ここにいる皆様は、リーダーのひとりであると思っている。構想を実現するため、リーダーとして頑張っていただきたい。
委員	今後、この構想が議会にかけられる。議決に向けて、様々な立場から議論が始まるが、私は、この構想を柱として崩さない、という思いを持って、挑みたいと思う。これから、この構想が10年間区民のためになるように頑張っていくことを誓い、お礼の挨拶とさせていただく。
委員	改めて答申を見ると、文章の長さなど気になる点が所々あるが、このようにまとめていただき、起草委員の先生方に感謝申し上げる。これは、構想であり、抽象的なので、今後どのように具体化していくかが重要である。区では、これから計画づくりが始まるが、その段階でも、区のいろんな業務、施策などに關係する方の声をしっかり聴いて進めていただきたいということを強くお願ひし、お礼の挨拶とさせていただく。
委員	皆様の、毎回、それぞれの立場に立ったご意見、貴重な提言等を拝聴させていただき、ためになる審議会であった。これからも参考にさせていただきたい。この審議会で形になった基本構想が、基本計画になり、板橋のため、そして板橋区民の皆様のために政策として展開されることを心から期待している。
委員	板橋に今住んでいる方々が、これからも長く住み続けたいと思うような板橋、区外の方々が移り住みたいなと思ってもらえるような板橋になるよう、私も議会の一員として頑張っていきたい。
委員	途中からの参加であり、短い間であったが感謝申し上げる。
委員	私も板橋生まれの板橋育ちであるが、今後の板橋がますます輝かしいまちになるよう祈っている。
委員	10回目からの参加であり、取りまとめの段階であったので、なかなか活躍はできなかったが、基本構想は区民の皆様のためにあるものだということを念頭に置きながら、議会として、本日取りまとめていただいた意見をしっかりと議論し、区と歩調を合わせていきたい。長い期間、

	ご議論いただき、感謝申し上げる。
委員	様々な意見もあり、様々な立場や価値観がある中で1つにまとめると いうのは本当に大変な作業であるが、限られた時間でしっかり論議できたと思う。皆様のご意見は、興味深く、勉強になった。板橋についてもさらに理解が深まった。
委員	私の専門である光学についても、基本構想に入れられてよかったです。 委員の皆様の発言は、知見に富んでおり、また、区の取りまとめ方も非常に上手で、職員の素晴らしい努力、ポテンシャルの高さに感服した。
委員	明治時代や戦後は欧米をお手本にしていたが、今の時代はお手本がなく難しい。今回の将来像は「未来をひらく緑と文化のかがやくまち板橋」であるが、もしかしたらこの辺は、約400年間、平和であった江戸時代から「緑と文化のかがやくまち」だったかもしれない。そのような歴史もあることが、委員のポテンシャルの高さにもつながっていると思う。とても面白い地域である。
委員	それから、常々、生成AIの重要性をお伝えしてきたが、構想を作つて終わりではなく、引き続きフォローアップをさせていただきたいと思う。
委員	この20年間で一番変わったことは、人生の目標が80歳から100歳になったことである。人生100年時代を迎えて、今回の基本構想では、「すべての人が健康で自分らしく輝けるまち」を掲げたが、高齢者がみんな元気で、みんなが協力し合えるまちになると良い。私は、医療従事者としてコロナ禍を過ごしたが、板橋は、医療資源に富んでおり、東京で一番多い病床を持ち、保健所、医師会とみんなで協力して乗り切った。今後我々が乗り超えるのは、健康長寿という目標を達成することである。健康と長寿は、医療次第である程度達成できるが、高齢者も含め、それぞれの人がそれを持って、区のために活躍する、それがまさに「かがやく」という今回の答申に込めた願いだと思う。
委員	区のいろいろなリーダーの方々のご意見、勉強になった。また区のいろいろな役職の方々が一生懸命まとめていただき、本当に頭が下がる思いである。
委員	あれほどたくさん出た意見をたった50ページのこの答申案にまとめられた職員の皆様に本当に心から敬意を表したい。結構大変なことだったと思うが、とても素敵な答申になったと感じている。
	私は区民ではないが、区境に住んでおり、板橋区で犬の散歩をしていて素敵な区だと感じている。安心安全な散歩がこれからも毎日朝晩できる区であって欲しい。
	それから基本構想が、区民にとって教科書になるのではなく、良い方

委員

向に変化していくしなやかなものであって欲しい。

たくさんの気づきがあった審議会であった。

この機会に参加させていただいたことに改めて感謝を申し上げたい。私は、遠方に住んでおり、この審議会に参加するにあたって、区のことを勉強するため、板橋マニアという本を熟読した。また、審議会の前後にレンタル自転車で区内を回り、研究を重ねた。

今回の基本構想は、自分が住む自治体にも真似して欲しいと思えるほど、素晴らしいものができた。真似して欲しいポイントは、まず、横断的な戦略と柔軟な対応が必要という問題提起をし、様々なことが複雑化する課題の中で、横断的に取り組むべきテーマをしっかりと設定し、そのテーマに対する組織的な取組の仕方まで書き込まれた点である。横断的な分野としてゼロカーボン、グリーンインフラといった環境要素を明示していただいたことは、環境を専門としている私としては大変にありがたいが、もちろん環境だけを優先すればよいのではなく、他の社会的課題、経済的課題と同じ次元で、しっかりと考察し、統合的な政策を進めていく必要があることを書き込まれたことが素晴らしい。

また、すべての人々がウェルビーイングを実感できることを目標とすることについて、委員の皆様がそれぞれの立場から、今の世代、将来の世代のことまでしっかりと議論し、それがしっかりと反映されているのが非常に画期的である。さらに、これを具現化していくための方向性、組織の枠にとらわれない連携体制の構築、分野横断的、機動的な対応を明文化されたこと、それを創案された若手中堅の職員の方は非常に勇気があるし、ゴーサインを出された幹部の皆様も素晴らしい胆力である。すべての職員の皆様に敬意を表する。

それから、内容だけではなく丁寧な進め方についても感服した。審議会だけではなく、区民検討会等を開催し、区民の意見をしっかりと取り入れる努力をされていることも、他の自治体で真似をしていくべきである。

私が、区との関わりができたのは、持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会という世界規模のサスティナブル自治体の協議会の日本事務局長をさせていただいたことがきっかけであったが、この先進的な基本構想・基本計画を、他区だけでなく全国の市町村、外国の自治体にも紹介していきたい。今後ともなんらかの形で、微力ながら板橋区の発展に貢献させていただけると幸甚である。

会長代理

皆様、私の板橋を何とかしたいという思いを持って語られ、それがこの文章になっていると理解しているが、これは文章にすぎないので、これを基本計画、施策にし、具体的に動かしていただきたい。

	<p>加えて、9つのめざす姿と分けて書いてあるが、それらは別々にあるものではない。常に他の部局と、例えばプラス子ども、プラス教育、プラススポーツなど、そういうチャレンジをして欲しい。自ら考える板橋区役所、常に先を走る板橋区役所、そうあっていただきたい。頑張つて欲しい。</p>
会長	副区長、教育長からもお願ひする。
副区長	第1回から年度を跨いで約1年間、ご審議いただき、感謝する。
	20年前の基本構想に関するデータを見ていたら、例えば、人口は51万人で横ばいが続き、途中で減少し始めて、令和7年には49万3000人になると予測されていた。人口1つとっても予測とは異なり、当時は予想できなかった課題が出たり、従来からの課題もスピードアップしたりと、複雑化・高度化する中での審議会であり、内容の質、量ともにご苦労をおかけしたと思う。
	いただいた答申を踏まえ、基本構想について議会の議決をいただいた後、その実現を図るための基本計画・実施計画、各政策分野の行政計画の策定においてはしっかりとその趣旨を反映して参りたい。
教育長	委員であるが、この答申を受け取る側でもあるので、改めて私からも皆様にお礼申し上げる。
	私は昨年の7月1日に教育長に着任したので、去年の8月から始まつたこの審議会は、私の仕事とともにあったと言っても過言ではない。それは中身にも反映されており、私は教育長になってから常に、教育というのは、人が幸せに生きるためにあると話してきた。この答申の12ページには、将来像が実現されたまちの姿として、「誰もが幸せを実感している」とあり、私が教育として掲げてきたことは間違いなかつたと実感して嬉しく思っている。同時に、幸せという言葉を書き込んだのだから、ちゃんとやりなさいとの激励の言葉とも受け止め、これからしっかりと教育行政を進めて参りたい。
	また、教育だけのことを考えるのではなく、常に他の8つのめざす姿とも連携をとりながら進めていくことを誓い、お礼とさせていただく。
政策企画課長	それでは、最後に審議会の締めくくりとして、会長からご挨拶を頂戴したい。
会長	皆様のご意見、ご感想を1つ1つ聞きながら、この1年あまりを思い出していた。本当に、毎回、貴重な意見があり、熱心にご参加いただき、改めて感謝申し上げる。進行役の不手際もあり、ご迷惑をかけた点もあったかと思うが、このように答申にまとめることができて、本当に私も嬉しく、ほっとした。
	私は、区民ではないが、区内の大学に勤め、長く板橋と関わらせて

	<p>ただいており、大学としても、私個人としてもお世話になっているので、こういった機会に関わることができ、嬉しく思う。</p> <p>このように答申がまとまり、今後、基本計画、実施計画という形になっていくと思うが、区長のリーダーシップのもと、各部署の部課長の方は、ぜひ、各部局の職員にお伝えいただき、進めていただければと思う。ここにお集まりの皆様は、いろいろな面で区や区民と関わる立場にいらっしゃるので、広くお声掛けをいただき、よりよい板橋区になっていけばと思っている。</p> <p>これから基本計画や実施計画を作り、実際に実行していくのは、非常に大変だと思うが、我々の答申に、何とか合わせながらやるのではなく、こういうことをやろうとみんなで共有し、明るく前向きに区政を進めていただることが重要だと思う。答申は、我々が作って区にやらせるものではなく、前向きに受け止め、前進していただければと思う。</p> <p>私は、ここ数年、特に地方の自治体と関わる機会が多いが、東京 23 区も大変な部分があるが、やはり恵まれている部分も多い。地方で何とかうまくやっているところは、市民自身がいろいろと動いている。ここにいる代表の方々だけでなく、実際に現場で区民の人たちが動く仕掛けを作り、情報発信からいかに巻き込んでいくかが非常に重要である。</p> <p>10 年先を見据え、変化が激しいだけではなく、先がなかなか見通せない時代になっているので、ご苦労もあると思うが、皆様にも頑張っていただきたい。区民の皆様にも、区民ではない、我々も何らかの形で頑張ればと思う。</p> <p>ちょうど定年までのあと 10 年の間、板橋にいることになると思うので、引き続きよろしくお願いする。本当に 1 年間、感謝申し上げる。</p> <p>これをもって本審議会はすべての日程を終了した。会長はじめ委員の皆様においては、1 年にわたりご審議をいただき、誠に感謝申し上げる。事務局の運営で至らないところもあったと存じるが、ご容赦いただければと思う。本日いただいた答申をしっかりと受け止め、基本構想・基本計画の策定作業を進めて参りたい。策定の暁には、皆様にご報告させていただく。</p> <p>それでは、これをもって本審議会は閉会とさせていただく。</p> <p><b>閉会</b></p>
所管課	政策経営部政策企画課総合計画係（電話 3579-2013）